

=====

Ocean Policy Update
＜日本海洋政策学会メールニュース＞

No.25 (2015年6月22日)

【本学会からのお知らせ】

- 6月10日(水)理事会開催、來生理事を副会長に選任
——H26年度事業報告・決算、H27年度事業計画・予算等を承認——
- 課題研究のテーマの提案募集
- 〔予告〕第7回年次大会、12月5日(土)、会場は早稲田大学西早稲田(理工)キャンパス

【一般情報】

- 「島と海のネット (IO ネット)」の第1回総会(5月25-26日)報告
- G7サミット(6/7-8)のGサイエンス学術会議共同声明で「海洋の未来」
- 総合海洋政策本部参与会議意見書、5月26日に海洋政策担当大臣に提出
- 7月20日「海の日」特別行事、記念式典やIMO国際シンポジウム等
- 6月8日、国連World Oceans Day。今年のテーマはHealthy oceans, healthy planet
——第三回World Ocean Summit、ポルトガルで開催——
- アメリカで6月9-11日に2015 Capitol Hill Ocean Week開催
- 日本沿岸域学会からのお知らせ：7/18, 19 全国大会(水戸)開催

=====

【本学会からのお知らせ】

- 6月10日(水)理事会開催、來生理事を副会長に選任
——H26年度事業報告・決算、H27年度事業計画・予算等を承認——
12月の理事会・総会に向けて、6月10日に理事会を開催しました。この中で、現在、副会長2名の体制ですが、会則上3名以内となっていることや、これまで3名体制で運営してきたことから、寺島・山形副会長に加えて、來生理事を副会長の一人に選任する決議を採択いたしました。
また、前年度事業報告・決算、新年度事業計画・予算、会員の入退会承認のほか、第7回年次大会の準備などについて審議し、すべて承認されました。

○課題研究のテーマの提案を募集します

本学会では、去る6月10日(水)に理事会を開催し、平成27年度の事業計画及び予算案を承認いたしました。その事業計画に基づきまして、会員による「課題研究」の新規テーマを募集することにいたしました。募集要領(<http://oceanpolicy.jp/>)をご覧くださいまして、所定の提案〆切日までに、積極的なご提案をお願いいたします。

○〔予告〕第7回年次大会、12月5日(土)、早稲田大学西早稲田(理工)キャンパス

本学会の年次大会は、毎年12月の第一土曜日に開催することになってはいますが、今年度は、12月5日(土)に、第7回大会として開催致します。開催場所は早稲田大学理工西早稲田キャンパス(東京メトロ副都心線西早稲田駅直結)で、発表論文等の募集については、改めてアナウンスいたします。

【一般情報】

●「島と海のネット (IO ネット)」の第1回総会 (5月25-26日) 報告

5月25日、26日に「島と海のネット」第1回総会が東京大学伊藤国際学術センターにおいて、海外参加者27名を含む総勢190名が集い、成功裡に開催されました。本総会は、笹川平和財団海洋政策研究所、オーストラリア国立資源安全保障センター (ANCORS) および東京大学海洋アライアンスが共催し、島の保安全管理、周辺海域の管理、気候変化・変動への対応、人材育成・組織強化などを盛り込んだ政策提言の実現に向けたプロジェクトの立ち上げを目指して開催されたものです。本ネットの事務局代表は、笹川平和財団海洋政策研究所寺島紘士所長 (当学会副会長) が務めています。

「島と海のネット」および今回の総会や今後の活動の詳細は、カンパンブログ (島と海のネット、 <http://blog.canpan.info/ionet-jpn>) に随時掲載して参ります。その他、お問い合わせ等は 島と海のネット事務局 (ionet@spf.or.jp) までご連絡ください。

●G7 サミット (6/7-8) のGサイエンス学術会議共同声明で「海洋の未来」

6月7日から8日にドイツで開催されたG7サミットに対し、Gサイエンス学術会議共同声明のひとつとして、「海洋の未来：人間の活動が海洋システムに及ぼす影響」がまとめられました。来年度は日本がG7のホスト国となります。日本学術会議が中心となり、Gサイエンスの声明を提案し、とりまとめをすることとなるため、植松光夫会員から海洋に関連したさらなる提案をしてはどうかとのメッセージを頂いています。

日本学術会議 HP

<http://www.scj.go.jp/ja/int/g8/index.html>

提言本文

<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-23-gs2015-3.pdf>

提言和訳 (仮訳)

<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-23-gs2015-3j.pdf>

●総合海洋政策本部参与会議意見書、5月26日に海洋政策担当大臣に提出

去る5月26日 (火)、「総合海洋政策本部参与会議意見書」が宮原耕治・総合海洋政策本部参与会議座長から山谷えり子・海洋政策担当大臣に手渡されました。同日付で、同意見書 (全9頁) ならびに4つのプロジェクトチーム (PT) (新海洋産業振興・創出PT、海域の利用の促進等の在り方PT、海洋環境保全のあり方検討PT、海洋産業人材育成・教育PT) の報告書一式が、website上に公開されました。

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kaiyou/sanyo/20150526/sanyo_iken.html

●7月20日「海の日」特別行事、記念式典やIMO国際シンポジウム等

今年の「海の日」は20回目であるとともに、ハッピーマンデー制度になってから初めて、旧来の海の日である7月20日がその日となります。政府では、同日に記念式典を開催するほか、国際海事機関 (IMO) 関連の国際シンポジウムの開催も予定しています。また、「海でつながるプロジェクトー海に想いをー」とのキャッチフレーズを含めたロゴも決定しました。下記のwebsiteで内容紹介の準備が進められています。日本財団でも「海の日サポートプログラム」で全国での多彩な行事を支援しています。

(国) <http://uminohi.jp/index.html>

(日本財団)

http://www.nippon-foundation.or.jp/what/grant_application/programs/marine_day/

●6月8日、国連 World Oceans Day。今年のテーマは Healthy Oceans, Healthy Planet
——第三回 World Ocean Summit、ポルトガルで開催——

2008年に国連総会で6月8日を“World Oceans Day”と決議しました。(Resolution 63/111, paragraph 171). 今年のテーマは、Healthy Oceans, Healthy Planet。これに併せて、Blue Week Lisbonの一環として、6月4-5日に第3回 World Ocean Summitも開催され、経済的開発と環境上の持続可能性をテーマに討議が行われました。Economist誌編集主幹が議長を務め、350ヶ国以上の政府、経済界等の参加者が集まり、閉会のキーノートスピーチはポルトガルの Pedro Passos Coelho 首相が行いました。また、8日には、UNESCO (IOC-UNESCO)がイベントを開催し、2015 Paris Climate Conference (COP21)のアピールを行いました。

日本でも宮古島でマングローブ観察会、伊勢志摩で干潟の生き物観察会、鎌倉・藤沢で湘南海岸の清掃、伊豆稲取で海中清掃、等々のイベントが予定されています。

(世界) <http://www.un.org/en/events/oceansday/>

<http://www.worldoceansday.org/>

(日本) <http://www.worldoceansday.jp/>

<https://ja-jp.facebook.com/worldoceansday.japan>

●アメリカで6月9-11日に2015 Capitol Hill Ocean Week 開催

米国ワシントンDCの博物館で、恒例のCHOW (Capitol Hill Ocean Week)が6月9日-11日まで開催されました。第114議会の開催に併せて各種のイベントが開かれましたが、この3日間、連続シンポジウムが開催され、主なトピックは次の通りです。初日のキーノートスピーチは French Minister of Ecology, Sustainable Development and Energy の Ms. Segolene Royal で、その後、ホワイトハウスの海洋政策担当者によるセッションや、キューバとの海洋保全協力、海軍及び沿岸警備隊の役割、北極圏審議会、2日目以降は、ツーリズム、海運政策、水産食料資源、海洋科学技術などをテーマにしたセッションが持たれました。このCHOWは、2002年から毎年開催されています。

<http://nmsfocean.org/CHOW-2015>

http://nmsfocean.org/files/2015_CHOW_Agenda.pdf

●日本沿岸域学会からのお知らせ： 7/18, 19 全国大会（水戸）開催

本学会と協力協定を結んでいる日本沿岸域学会から、平成27年度日本沿岸域学会全国大会（水戸）を7月18日（土）、19日（日）に茨城県水戸市の茨城大学水戸キャンパスで開催するとのお知らせがありました（大会テーマ：「気候変動と沿岸域管理」。概要は以下のHP参照）。

<http://www.jaczs.com/04-convention/taikai/h27/index.html>

本学会会員は、日本沿岸域学会会員と同等の参加費で参加することができますので、参加ご希望の方は、以下のHPの「参加申込み」の「その他」欄に「日本海洋政策学会会員」と明記の上、7月10日（金）までに直接お申し込みください。

<http://www.jaczs.com/attendance-mito.html>

（日本沿岸域学会ホームページ：<http://www.jaczs.com>）

~~~~~

※本メールニュースは原則として年4回以上、学会員はじめ関係方面の方々に配信しています。

※本メールは転送自由とします。直接配信希望、配信停止、ご意見やコメント等は、下記の事務局まで、ご連絡ください。

日本海洋政策学会事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-4-10 虎ノ門 35 森ビル 笹川平和財団海洋政策研究所 気付

Tel/Fax: 03-5404-6868、e-mail アドレス: [office@oceanpolicy.jp](mailto:office@oceanpolicy.jp)

Website: <http://oceanpolicy.jp>

